



# エコポスト

小田原市の環境を考えるための情報誌

vol. 74

## 第54回 北條五代まつり「美化キャンペーン活動」開催

小田原市最大の観光イベント「北條五代まつり」が、第54回を迎えました。午前中は雨模様でしたが、途中から天気は回復し、観光客が途切れなくお城へ向かう中、本協会では5月3日（木・祝）に中・高校生を交え、大人たちと一緒に約1時間の清掃活動を行いました。皆様の協力のおかげで、たくさんのごみを収集することが出来ました。ありがとうございます。

午前9時まで雨が降り、その後雨がやみ、10時までに旭丘高等学校中庭に130人が集まりました。

開会式の後、城内、パレード進行方向、錦通り銀座方面の、逆方向3班に分かれ、清掃活動を行いました。

午後3時半に、21人の方に集まっていただき、お堀通りの清掃活動を実施しました。後半に集めたごみの分量は7.3kgで、燃せるごみは95%でした。

（昨年は4.8kg、燃せるごみは81%）

市民の方から、御苦労さんと声を掛けて頂きました。

（小田原市環境ボランティア協会会員）



## 小田原市「夢が咲く・マイ花壇」の除草作業に参加して..

平成30年5月13日（日）に開催された、小田原市「夢が咲く・マイ花壇」シバザクラ除草作業に参加しました。マイ花壇オーナーも含め、総勢約40人が集まり、除草作業を実施しました。



平成30年5月13日（日）の午前9時から10時、酒匂川左岸小田原大橋土手のシバザクラの除草作業に参加しました。

この日、午前中は曇りでしたが、約40人が集まり作業を行いました。

平成23年から、毎年春に皆さんに感動を与えてくれる、きれいなピンク色の花。

来春の訪れが待ち遠しいです。

この日は同時刻に「クリーンさかわ」清掃活動も実施されました。

（小田原市環境ボランティア協会会員）



# 第45回 山王川・久野川一斉清掃に参加しました！

6月2日（土）晴天に恵まれ、9時より井細田八幡神社境内にて、久野の古谷会長はじめ、小田原市の加藤市長、神奈川県小田原土木事務所長から挨拶をいただき、地域の方々、富士フィルムの方々、旭丘高校の方々、ボランティアの方々、市の職員等、総勢80人ほど参加し、盛大な開会式が行われ、刈り取った草の堆肥化の実績など話されました。

市の職員数人が川に入り、ごみの除去を始め、周囲のごみ拾いよりきれいな川となりました。

（小田原市環境ボランティア協会 西島 摩瑛頭）



# 東海道五十三次クリーン作戦に参加して！

小田原は江戸と京を結ぶ東海道の宿場町として栄え、まちの衛生環境は清潔で快適だったそうです。その小田原のまちと自然環境を守り育てるため、小田原市環境ボランティア協会はこの活動に賛同し、美化清掃を行いました。



江戸時代、小田原は非常に綺麗な宿場町であったと日本へ来た外国の人が、日記に記しています。当時の小田原の人は、自分達の生活を大切にしていた証だと思われます。

毎年この6月は環境月間です。この時期に合わせ、清掃活動を行っています。

6月10日（日）、天気予報は雨でしたが、運よく雨が降らず、7人の参加で清掃活動ができました。

参加者全員楽しく夢中で活動しました。

（小田原市環境ボランティア協会 西島 摩瑛頭）

# まちをきれいにするボランティア

日頃から、小田原市環境ボランティア協会の活動に参加・協力してくださっている旭丘高等学校の生徒が、ボランティア活動に関する感想文を書いてくれましたので、ご紹介いたします。

私は3年間、落ち葉はきに参加しました。1年の時に初めて落ち葉はきのことを知った時、まだよく知らない小田原という市を知る良い機会だと思ったと同時に、活動を通じて、友人を作れるのではと思いました。活動してみると、話したことのない人とも会話することができ、また小田原市をきれいにするに少しでも協力できたことに、思っていた以上に充実感を持ちました。なので、2年で落ち葉はきの募集があった時にも、迷わず参加を決めました。2年目の活動の時も、やる気のある参加者たちと、有意義な時間を持つことができましたと思いますが、やはり前年度と同様、まだまだタバコの吸い殻などのゴミが多いと感じました。通学路にタバコの吸い殻は小田原市民の方々はどう思われているのだろうと思いました。大人が捨てているにしても、そう考えない方も多々いるのではないかと思います。まじめに頑張っている学生もたくさんいるのに私は悲しい気持ちになりました。

そして今年の落ち葉はき。嬉しいことに、タバコの吸い殻がとても減っていました。また、掃除をしていて、何人かの方に、「これも捨てさせてもらえる？」と声を掛けられました。もう少しゴミ箱があれば、ゴミのポイ捨てが減るのではと思いました。しかし、もしゴミ箱を設置しても、そのゴミの収集の問題などがあるので、すぐに設置は難しいと思います。

私は今回が最後の参加となりましたが、後輩たちにも積極的に参加して欲しいと思います。

旭丘高等学校 3年A組 駒場 龍矢

# 平成30年度 小田原市環境ボランティア協会総会開催

6月14日（月）、市役所3階301会議室にて、会員10名の出席並びに委任状を48名分いただき、合計58名に達し、会員数の3分の1以上になり、総会を開催することが出来ました。

司会は濱野氏、議長は地球温暖化防止アクショングループ会長の香川氏とし、議事を進行していただきました。

また、小田原市環境政策課より齊藤課長はじめ職員4名にご出席いただきました。ありがとうございました。

本協会は平成8年6月28日に発足し、23年が経過しました。

人は環境の子なり、誰でも育つ、育て方が大切です。家庭環境・地域の環境・職場の環境・社会環境・自然環境など、良い環境を目指し、一步一步前進することが大切です。皆さんと一緒に小田原のより良い環境を目指し、実践してきました。

更に皆さんと共に一步一步努力し、前進していきましょう。

(小田原市環境ボランティア協会 西島 摩瑛頭)



## プラスチックに関心を！「たかがごみ拾い、しかし重要なごみ拾い」

最近の研究によると、プラスチック等の化学物質が海中に沈殿しており、その重量が全世界の海洋に生存する魚類の全重量（8～20億トン）と同等になるのは2050年であると発表されている。

あと30年ほどだからと気軽には考えられない深い事情があることに、私は驚いている。もう少し説明しますと、プラスチックごみ（プラごみ）の中には、大は資材、小はトレーやプラ袋などであるが、海水に漂ううちに微小になり植物プランクトンの栄養となってしまおうのである。そのため国によってはプラスチックをなるべく使わないよう、例えば一般的にはプラで製造されているストローを食べてもよいような食物繊維にしている。

世界的には今から70年程前の1950年頃に大量生産されるようになっていくプラスチックは、1年間の全生産量の10%（800万トン）程が海に流れ込んでしまっていると試算する学者もいる。

以上の数量的な資料はスマホ等で検索すると詳細にわかることですが、私にとっては、この理解を現実生活でどうすればよいか最大の課題だと感じている。そのため、一人でも多くの方がプラごみに関心を持って、街中に散乱しやすいごみを積極的に拾うような意識づくりに取り組みたいと思っている。

幸いなことに小田原には「まちをきれいにする会という」グループがあり、特に海岸のプラごみを中心に、小中学生とともに、拾い集める行動は素晴らしいことである。

このような実践は深く考えれば、人類の食物連鎖を良好にするという重大な鍵を握っている行為だと評価する方もいることを申し添えたい。

(小田原市環境ボランティア協会 高松 民吉)

# かんきょう伝言板

\*\*\*\*\*イベントのご案内\*\*\*\*\*

## ◇環境美化促進重点地区啓発キャンペーン

小田原駅を中心とした環境美化促進重点地区の清掃活動を行いながら、きれいな街、良好な生活環境をつくる啓発キャンペーンを行います。

【日時】7月19日  
8月2日  
9月6日  
10月4日・18日  
11月1日・15日  
12月6日  
いずれも木曜日の13:30~15:00  
(雨天中止)

【集合場所】小田原駅西口駅前ロータリー（北條早雲像前）

【集合時間】13:20

【持ち物】軍手

【主催】小田原市環境ボランティア協会

【連絡】西島 (23-3740)



## ◇落書き消しのボランティアを募集します！

小田原市内において、11年前から落書き消しの活動をボランティアで実施しています。活動を開始してから、徐々に落書きの数も減ってきてはいますが、まだ歩道橋やガードレールなど目に付くところに落書きがされています。

そこで毎月の活動（不定期）に、ぜひご参加いただける方を募集します。みんなの手で小田原のまちを落書きが一つもない綺麗なまちにすることを目標に活動してみませんか。

実施日や活動の内容等につきましては、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

【持ち物】汚れてもよい服装・軍手

【連絡】環境ボランティア協会 西島 (23-3740)

【今年7月までの実績】市内全域13,821箇所



\*\*\*\*\*小田原市からのご案内\*\*\*\*\*

## ◇食品ロス削減のため「おいしく残さず食べきろう！」

食べられるのに捨てられてしまう食べ物「食品ロス」が全国で年間約646万トンも発生しています。

夏休みやお盆になれば、家族や親戚集まっただけの食事が増えることと思います。ご家庭でもできることを実践することで食品ロス削減へぜひご協力ください。

### 【家庭編】

・計画的な買い物

安いからなどの理由で必要以上に食材を買いこむと、使い切れないことがあるため、特に、傷みやすい食材は、計画的な買い物をすることを心掛けましょう。

・冷蔵庫・家庭内の在庫管理

普段からこまめに家庭内の食品の在庫や消費期限・賞味期限を確認しましょう。

・使い切り

野菜の皮や茎も料理に取り入れるなど、食べられる部分は使い切り、結果、食材の栄養も余すことなくとれる。

・食べきり

食べ残しを減らすために、料理は食べられる量だけ作り、余った料理はアレンジしたり、小分けにして冷凍庫で保存するなど、食べきる工夫をしましょう。

### 【外食編】

・注文時：適量注文

食べられる量だけ注文し、必要に応じて小盛りメニューを選ぶなど、注文段階で工夫をしましょう。

・料理が余ったら：みんなで分け合おう

食べきれない料理はみんなで分け合ひましょう。

### 【担当】

小田原市環境政策課ごみ減量推進係 (33-1471)

## ◇生ごみ堆肥化推進事業 新規参加者募集

市内在住のかたで、ご家庭で段ボールコンポストによる生ごみの堆肥化に取り組めるかたを募集します。無料で一式配布します。（現在既に実施している方には交換基材を有料にてお渡しできます。）詳細については、下記までお問い合わせください。

### 【連絡】

小田原市環境政策課ごみ減量推進係 (33-1471)

小田原生きごみクラブ代表 浜野 (090-5781-0788)

◎エコポストの制作（写真や絵画、広告制作等）にご協力いただける方を募集しています。ご興味がある方はぜひお問合せください。

また、イベントや活動紹介などの掲載をご希望の方は、事務局（33-1472）までご連絡ください。（常時原稿募集中）

【発行日】2018年7月13日

【発行責任者】小田原市環境ボランティア協会 会長 西島摩瑛頭

【事務局】小田原市環境部環境政策課